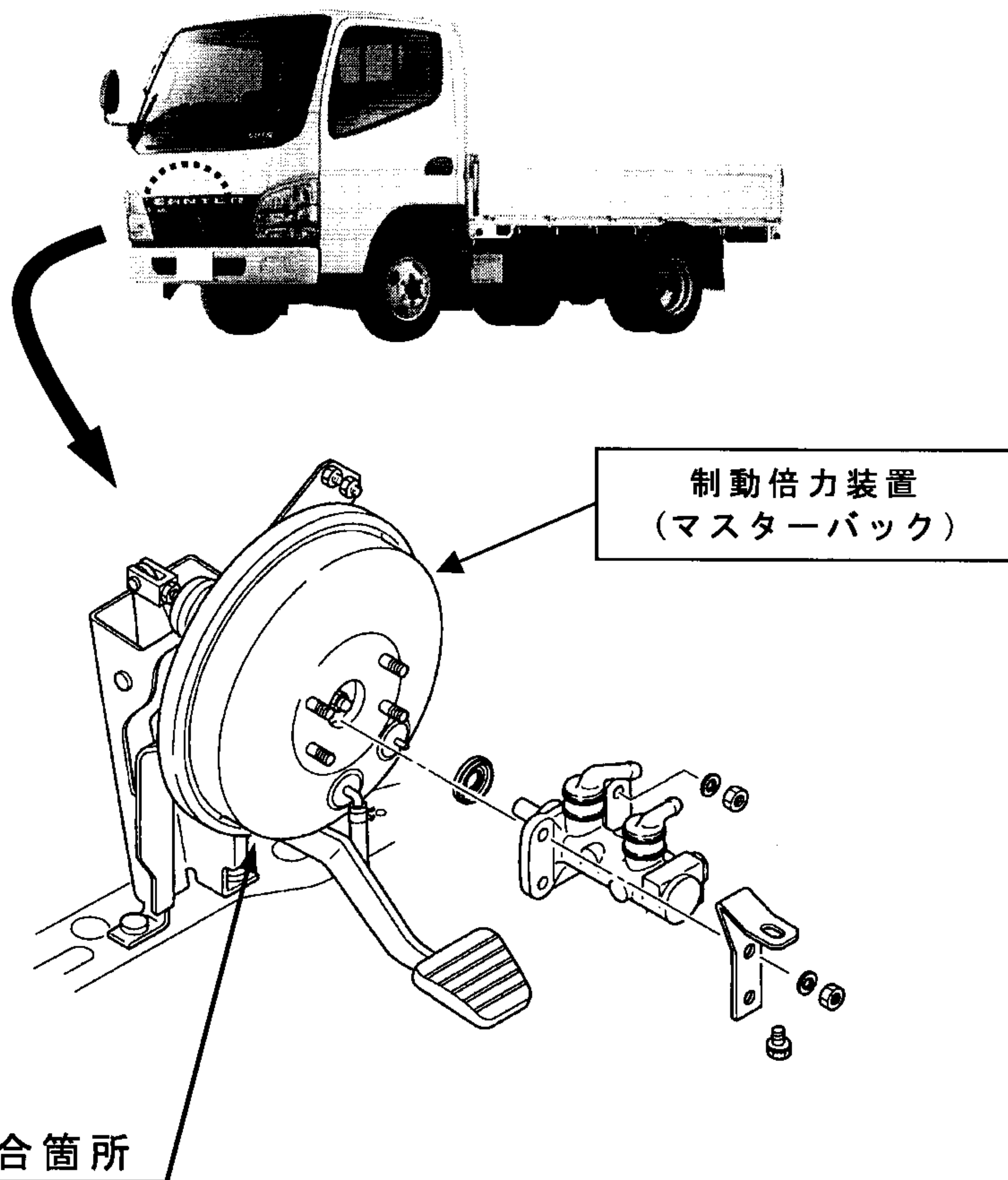


改善箇所説明図



自動変速機付ガソリンエンジン搭載車において、制動倍力装置(マスターバック)の容量が不適切なため、自動暖機運転でエンジンのアイドリング回転数が上昇すると、制動力がトルクコンバータのクリープ力に対して不足する場合があります。また、自動暖気運転時に冷凍機コンプレッサー等を作動した際、さらに制動力が低下する場合があります。そのため、エンジンが十分に暖気できていない状態で走行レンジに入れると、ブレーキペダルを踏んでいても、車両が動き出すおそれがある。

改善の内容

全車両、マスターバックを対策品に交換する。また、冷凍機用コンプレッサーを装着した車両については、エンジンの電子制御ユニットも対策品に交換する。

なお、電子制御ユニット(対策品)の供給に時間を要するため、冷凍機用コンプレッサーを装着した車両については、マスターバックを対策品に交換した上で、次の暫定措置を実施する。

- ・ エンジンの冷却水温度が上昇するまで発進を行わない旨の注意事項を記載した運転注意銘板を貼付け。

注：□は、交換部品を示す。

識別：①対策品への交換作業実施済み車両に対しては対策作業完了後、Φ9の金色のシールを助手席側ドアリヤピラー部ストライカー下部に貼付する。

②対策品が間に合わず、暫定措置を実施した車両には、Φ9の銀色のシールを助手席側ドアリヤピラー部ストライカー下部所定の位置*に貼付する。